宝生会　春の別会能

三月二十二日（日）
正午始
開場　午前十一時

12:00 鷺

子方　稲田　海音
シテ　小倉　敏克

ワキ　宝生　欣哉
ワキツレ　工藤　和哉
〃　吉田　祐一
〃　野口　琢弘
〃　平木　豊男
〃　高井　松男
〃　大日方　寛
〃　御厨　誠吾
間　大蔵彌太郎

大鼓　柿原　崇志
小鼓　幸　清次郎
太鼓　小寺　佐七
笛　一噌　庸二

後見　高橋　章
登坂　武雄
藤井　雅之

地謡　小倉伸二郎
小倉健太郎
山内崇生
金森秀祥
武田孝史
三川淳雄
田崎隆三
今井泰行

12:40 空腕

大蔵吉次郎

大蔵　教義

休憩

13:55 隅田川

子方　藪　俊太朗
シテ　當山　孝道

ワキ　森　常好
ワキツレ　梅村　昌功

大鼓　國川　純
小鼓　住駒　幸英
笛　一噌　幸弘

後見　小林与志郎
中村孝太郎
水上　優

地謡　澤田宏司
小林晋也
高橋　亘
金井雄資
大坪喜美雄
亀井保雄
前田尚廣
佐野由於

仕舞　熊野　朝倉　俊樹
鞍馬天狗　東川　光夫
雲林院　今井　泰行
飛鳥川　宝生　和英
佐野　登
大坪喜美雄
辰巳満次郎
山内崇生

休憩

15:50 道成寺

シテ　辰巳大二郎

ワキ　舘田　善博
ワキツレ　則久　英志
〃　野口　能弘
間　善竹富太郎
〃　善竹大二郎

大鼓　大倉慶乃助
小鼓　住駒　充彦
太鼓　大川　典良
笛　藤田　次郎

後見　朝倉　俊樹
東川　光夫

地謡　金森　良充
東川尚史
亀井　雄二
佐野　登
辰巳満次郎
和久荘太郎

鐘後見　宝生　和英
野月　聡
大友　順
高橋　憲正
當山　淳司

仕舞　頼政　小林与志郎
草紙洗　登坂　武雄
弱法師　佐野　由於
藤井　雅之
田崎　隆三
金森　秀祥
高橋　亘

終演予定　十七時四十五分頃

演目の解説

能「鷺」（さぎ）

神泉苑に御幸があり、池の涼のほとりで、一羽の鷺を認め、洲先に寄るよう命じました。臣下下臣は、帝にそえて来る由を捕らえ、蔵人に対し、飛んで捕まえるよう押しました。蔵下は更に、蔵人行自由なる鳥がいなくなったのを、帝は、蔵人に困惑し、人々が芦陰に隠れて、ようやく見つけ出した。帝は、蔵人に命じて、鷺を捕まえようとなさいました。臣下は、鷺を追いかけ、パッと飛び上がって、近づくと、鷺は、空の中を飛び、五位の鷺は、帝の勅命に従って、向かって、飛びつき、立ってい帝に言い渡すと、鷺は、喜びの舞をし、神妙に聞き入って、帝の御前に伺い、舞を帝に献上しました。

狂言「空腕」（そらうで）

冠者が、主人に、使いに出かけようとすると、太郎冠者が、主人に、使いに出かけようとすると、太郎冠者が、主人に、使いに出かけようとすると、太郎